



大型ショックアブソーバー取付け、取り扱い説明

取り扱い説明に従い設置頂ければ、ショックアブソーバーを最大限に御活用頂けます。

取付け概要

取付け設置面に十分強度がある構造物上に取り付けてください。ロッド先端のボタンと荷重物体が水平に当たるよう調整してください。底突きしないように、ストロークエンドの2.3mm手前にメカニカルストッパーを設置してください。

必要に応じ保護板を用意し、酸、スチーム、溶接スパッタ、ヒューム、粉塵等から本体を保護する様、設置してください。
ショックアブソーバーの時間当りエネルギー容量が最大になる場合、設置箇所の環境温度を24°Cを越えないよう願います。
熱を最大限に発散させる為、本体への塗装は避けて下さい。
2本以上を併用される場合は、同一機種にて荷重が均等に配分されるよう設置してください。

注)自力補正型 CA、CAN(クレビス)、調整型 A、NA(クレビス)はATFオイルが充填済みですので、適正な設置後、すぐに御使用頂けます。

前側、後側フランジ型 取付け<FIG1&2>

十分強度がある構造物上に、CA(自力補正)、A(調整)モデルのアブソーバーを取付けて下さい。
固定ボルトが確実に取付けられているか御確認下さい。
メカニカルストッパーの設置については、上記取付け概要を御参照下さい。

サイドマウント型 取付け<FIG3&3A>

十分強度がある構造物上に、CA(自力補正)、A(調整)固定ボルトが確実に取付けられているか御確認下さい。
サイズM16のボルト4本、グレード8以上を使用すること。
アブソーバーの移動防止の為、後足固定バー後方へキーを設け、溶接固定して下さい。

FIG.1 : 前側フランジ型

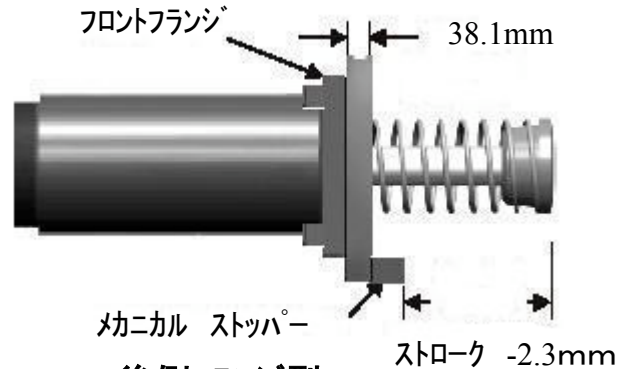


FIG.2 : 後側フランジ型



FIG.3 : 2インチボア サイドマウント型

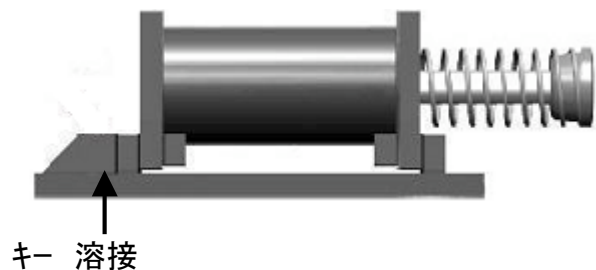
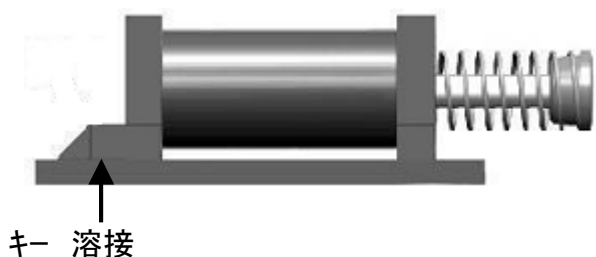


FIG.3A : 3インチボア サイドマウント型



クビスマウント型 取付け<FIG.4>

後部クビスと前部ロッド側クビスを設置箇所に合わせて、固定して下さい。
底突きによる不具合防止のため、ストロークエンド2.3mm以上手前にて止まるよう、本体の設置を調整して下さい。
ストローク伸張時に、引っ張り方向での過負荷が発生しないような設置して下さい。

FIG.4 : クビスマウント型



調整型(A)2&3インチ <FIG.5>

ショックアブソーバを効果的に使用するには、適切な調整が重要となります。工場出荷時に調整目盛り(ショックアブソーバ底面)は“5”にセットされております。
装置への取付けが終わりましたら、目盛り“5”のままでもワークを衝突させます。
ショックアブソーバ底面“0~9”調整目盛を、六角レンチにて調整頂くことで、最適な減速を実現します。
(最適目盛りの場合、全ストロークにわたり減速がスムーズ)

目盛5にてショック吸収が十分であれば、そのまま御使用できます。

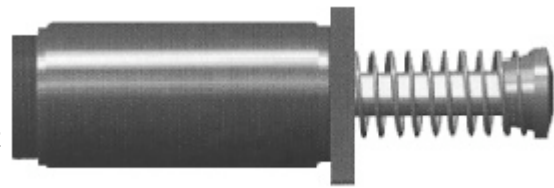
- * ストローク初期(先端ボタン側)にてショックが発生する場合、目盛りを9の方向へ廻し、適切な位置を設定して下さい。
- * ストロークエンド、ストッパ側にてショックが発生する場合、目盛りを0方向へ廻し、適切な位置を設定して下さい。

最終的に、目盛りが2以下、または8以上の調整目盛りとなる場合は、他のアブソーバを御検討下さい。

注) クビスマウント型取付け

後側クビス(調整目盛り側)は出荷時には、取付けが緩くなっております。適切な調整を終えてから、クビスとネジ溝を接着固定して頂き、ボルトによるクビスフランジの固定を確実に行ってください。

FIG.5 : 調整方法



5/16" (8mm)

六角レンチ穴 調整型のみ